

事業コード	H29-建-継-14			区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	広域河川改修事業			部局課室名	建設部 河川砂防課
事業種別	河川改修			班 名	河川・ダム・海岸 (tel)018-860-2514
路線名等	二級河川 豊川			担当課長名	河川砂防課長 小野 久喜
箇所名	潟上市昭和船橋			担当者名	副主幹(兼) 班長 鳴海 勝哉
プランとの関連	政策コード	01	政策名	県土の保全と防災力強化	
	施策コード	01	施策名	健全な県土保全の推進	
	指標コード	01	施策目標(指標)名	地震、治水、治山対策等による生命と財産を守る安全な地域づくり	

1. 事業の概要

事業期間	H20 ~ H31 (12年)	総事業費	14.0 億円	国庫補助率	50																																																					
事業規模	計画延長:L=800m 計画高水流量:Q=55(90)m ³ /s 1/10(1/30)																																																									
事業の立案に至る背景	<p>豊川は潟上市(旧昭和町)を東西に流れ、八郎湖に流入する二級河川である。当河川は昭和35年より、八郎潟干拓流入河川改修事業、小規模河川改修事業、統合河川の改修事業により、平成13年度末までに本計画始点下流まで完了している。</p> <p>しかしながら、H10、H14、H18の豪雨で多くの浸水被害を受け、特に平成18年7月の豪雨では、浸水被害12戸(床上1戸、床下11戸)の被害が発生し、地元から早期改修の声がより一層強くなり、本事業に着手したものである。</p>																																																									
事業目的	頻発する洪水被害を防止し、計画区域内の住民の生命と財産を守るため、河川改修事業により河川断面不足の解消及び法線等の是正を図り、県土の保全と防災力の強化を図る。																																																									
事業費内訳	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計 画 時</th> <th>評 価 時</th> <th>増 減</th> <th>理 由 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>900,000</td> <td>1,400,000</td> <td>500,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">経費内訳</td> <td>工事費</td> <td>440,000</td> <td>830,000</td> <td>390,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>用補費</td> <td>240,000</td> <td>410,000</td> <td>170,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>220,000</td> <td>160,000</td> <td>▲60,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">財源内訳</td> <td>国庫補助</td> <td>450,000</td> <td>700,000</td> <td>250,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県債</td> <td>405,000</td> <td>630,000</td> <td>225,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>45,000</td> <td>70,000</td> <td>25,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>事業内容</td> <td>築堤、掘削、護岸工、橋梁工等</td> <td>築堤、掘削、護岸工、橋梁工等</td> <td colspan="2">支持層として想定していた地質が軟弱層であり、支持地盤が深かったことによる橋梁基礎工の増額等。</td> </tr> </tbody> </table>						計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	事業費	900,000	1,400,000	500,000		経費内訳	工事費	440,000	830,000	390,000		用補費	240,000	410,000	170,000		その他	220,000	160,000	▲60,000		財源内訳	国庫補助	450,000	700,000	250,000		県債	405,000	630,000	225,000		その他	0	0	0		一般財源	45,000	70,000	25,000		事業内容	事業内容	築堤、掘削、護岸工、橋梁工等	築堤、掘削、護岸工、橋梁工等	支持層として想定していた地質が軟弱層であり、支持地盤が深かったことによる橋梁基礎工の増額等。	
	計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等																																																						
事業費	900,000	1,400,000	500,000																																																							
経費内訳	工事費	440,000	830,000	390,000																																																						
	用補費	240,000	410,000	170,000																																																						
	その他	220,000	160,000	▲60,000																																																						
財源内訳	国庫補助	450,000	700,000	250,000																																																						
	県債	405,000	630,000	225,000																																																						
	その他	0	0	0																																																						
一般財源	45,000	70,000	25,000																																																							
事業内容	事業内容	築堤、掘削、護岸工、橋梁工等	築堤、掘削、護岸工、橋梁工等	支持層として想定していた地質が軟弱層であり、支持地盤が深かったことによる橋梁基礎工の増額等。																																																						
事業の進捗状況	<p>全体計画 C=14.0億円</p> <p>平成28年度末投資額 C=11.5億円</p> <p>進捗率 82.1%</p>																																																									
事業推進上の課題	特になし																																																									
関連する計画等	第2基ふるさと秋田元気創造プランにおいて、県民の基礎的な生活環境を整備するために県が継続的に取り組むべき基本政策のうち、「県土の保全と防災力強化」に位置付けられている。																																																									
情勢の変化及び長期継続の理由	用地買収については、地元説明会等で事前合意のうえ事業を進めているが、個別の用地・家屋補償に時間を要している。 また、河道拡幅に伴い3橋の橋梁架け替えが必要であり、施工に時間を要している。																																																									
事業効果把握の手法及び効果	<table border="1"> <tr> <td>指標名</td> <td colspan="3">河川整備率</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>指標式</td> <td colspan="3">河川改修済み延長/要改修延長</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>指標の種類</td> <td>○ 成果指標</td> <td>● 業績指標</td> <td>低減指標の有無</td> <td>○ 有</td> <td>● 無</td> </tr> <tr> <td>目標値 a</td> <td colspan="3">47.2%</td> <td>データ等の出典</td> <td>河川砂防課</td> </tr> <tr> <td>実績値 b</td> <td colspan="3">47.1%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率 b/a</td> <td colspan="3">99.8%</td> <td>把握の時期</td> <td>平成29年 3月</td> </tr> </table>					指標名	河川整備率					指標式	河川改修済み延長/要改修延長					指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有	● 無	目標値 a	47.2%			データ等の出典	河川砂防課	実績値 b	47.1%					達成率 b/a	99.8%			把握の時期	平成29年 3月																	
指標名	河川整備率																																																									
指標式	河川改修済み延長/要改修延長																																																									
指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有	● 無																																																					
目標値 a	47.2%			データ等の出典	河川砂防課																																																					
実績値 b	47.1%																																																									
達成率 b/a	99.8%			把握の時期	平成29年 3月																																																					

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項 特になし
	②指摘事項への対応 特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	当該地区は河積が狭小で且つ河道の蛇行が著しく、毎年のように浸水被害が発生している。家屋浸水・農地冠水の他、県道も冠水するため事業実施の必要性は高い。また、平成19年に豊川を含む河川整備計画も策定されており、当河川においては関係機関との協議も終えている。	18点
緊 急 性	当該区域の流下能力は、目標流量55m ³ /sに対して現況で20m ³ /s (36%) 程度と低く、洪水被害が繰り返される状況にある。また重要水防区域に位置付けられていることから、事業実施の緊急度は高い。	13点
有 効 性	当該区域は川幅も狭小であることから、河道掘削により流下断面を拡大することで、災害防止効果が発現するため有効性は高い。また、階段護岸を設置するなど親水性の向上を図っている。	15点
効 率 性	事業の費用対効果は1.84であり、効率性は高い。また、再生砕石の利用、排水樋管の統廃合などによりコスト削減に努めている。しかし、活用を予定していた既設護岸の機能低下による護岸改良工や想定した地質との相違による橋梁基礎工の増工、橋梁架け替えに伴う家屋や上下水道施設の移転補償の追加などから事業費は当初計画から15%増加している。	10点
熟 度	湯上市から要望があり、地元説明会においても、地元との合意形成はなされている。個別の用地補償等に時間を要しているものの進捗率は82%と概ね順調に進んでいる。また、建設副産物の再利用や認定リサイクル製品の使用、再生砕石の利用などにより、環境に配慮しながら事業を進めている。	25点
判 定	ランク (●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ)	81点
	地元からの要望が強く、「必要性」「有効性」「効率性」等から、事業の重要性は高く評価できるため、整備を継続し早期完成を目指すべき。	
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

コスト削減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 河川改修事業

事業コード (H29-建-継-14)
箇所名 (豊川 湯上市船橋)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	想定氾濫区域内の状況	浸水戸数	50戸以上	10	7	11戸	
			49～10戸	7			
			10戸未満	3			
	浸水面積		60ha以上	10	3	56ha	
			59～10ha	7			
			10ha未満	3			
	重要な公共施設		3施設以上	5	3	県道	
			2～1施設	3			
			なし	0			
	整備計画の策定						
	関係者、関係機関との調整		整備計画策定済み	5	5	馬場目川圏域 河川整備計画(H19)	
協議中であるが特段問題ない			3				
策定に着手していないが予定がある			1				
予定なし			0				
計				30	18		
緊急性	災害発生危険度	改修目標流量に対する現況流下能力	40%未満	10	10	現況流下能力 20m3/s 目標 55m3/s(36%)	
			40～59%	7			
			60%以上	5			
	秋田県水防計画	重要水防地域	評定基準区分A	5	3		
			評定基準区分B	3			
計				15	13		
有効性	河川整備の有効性	安全度	災害防止等効果が発現する	7	7		
			災害防止効果は現状と変わらない	0			
		親水性	安全に川と親しむ場として利用が見込まれる	5	5		
			親水性は現状と変わらない	0			
		地域開発の状況	都市計画区域の存する地域	3	3	豊川中央街区公園 (S49.7.12)	
地域開発の計画がある	1						
計				15	15		
効率性	事業の投資効果	費用便益比(B/C)	1.0以上	5	5	B/C=1.84	
			1.0未満	0			
	事業実施コストの縮減	該当項目数	3項目以上	5	5	発生残土の流用 再生採石の利用 排水樋管の統廃合	
			2項目	3			
			1項目	1			
			なし	0			
	当初計画との比較	当初計画事業費からの縮減	減少または10%未満の増加	5	0	900百万円→1,400百万円 156%増	
10%以上30%未満の増加			3				
30%以上の増加			0				
計				15	10		
熟度	地元との合意形成の状況	地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている	5	5	要望あり	
			意向が強く要件の同意を概ね得ている	3			
			意向が一部で強いがまだ要件の同意は得ていない	1			
	市町村の参画		積極的に参画し要望書等の提出がある	5	5	要望あり (湯上市)	
			参画している	3			
			参画していない	0			
	事業の進捗状況	進捗率(事業費)	8割以上完了	10	10	82%	
			5割以上完了	8			
			1割以上完了	5			
			1割未満	2			
環境との調和への配慮状況	環境保全への配慮	システムでの環境配慮事項が3事項以上	5	5	発生土の流用 景観ブロック等の採用 再生砕石の利用		
		システムでの環境配慮事項が1～2事項	3				
		システムでの環境配慮事項がない	0				
計				25	25		
合計				100	81		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		